

「玄海原発の再稼働に関する要望」への回答に対する再質問と要望

2016年12月28日

伊万里市長 塚部 芳和 様

原発ゼロ伊万里市民の会

代表世話人 深川 法秀
吉永 彌吉郎
吉永 節子
藤井 亮輔

早速に誠意ある回答をいただき、ありがとうございました。

「伊万里市民の原発への不安が相当大きい」ことを十分に理解いただき、「再稼働はすべきでない」「今後も機会があれば再稼働反対を主張していきたい」との明確な発言を述べられ大変頼もしくありがたく思っています。また、『避難計画をもっと具体的に策定するという点については、市としても『これで終り』ということではなく、今後も、より良い地域防災計画となるよう不断に見直しを進め』と大変前向きな回答をいただき安心していただいております。

その上で、ご回答についていくらか質問と要望をさせていただきます。

〔Ⅰ〕 要望事項

2) ②

県の「原発に関する第三者委員会」を設置されるとのことですがメンバーの公平さと議論の公開が実現されるように県知事に要請してください。

これに対する回答ですが

12月20日に県が発表した「玄海原子力発電所の再稼働に関して広く意見を聴く委員会」と「原子力安全専門部会」の委員名の中で、専門部会の7名の専門家には原発推進の専門家が多数を占めていたことで、『公平さ』を著しく欠いていると『脱原発佐賀ネットワーク』が山口祥義佐賀県知事へ申し入れをしております。(別紙)

私たちもこの人選には利害関係者による圧力の存在を疑わざるを得ません。原発再稼働反対自治体として、この委員会人事の再選考を申し入れていただきたいと思います。

〔Ⅱ〕 伊万里市の取り組みに関する 質問・要望など

2) 2) 安定ヨウ素剤の配布(各町公民館、学校)は完了されているということですが、具体的にいつどのように使うのか使用方法の説明会を各町ごとにされないという意味がないのでしょうか。

これに対する回答で

原発災害が発生した場合に、市は、国からの配布指示を受け、市民の皆様に対して、服用をしていただくこととなります

とありますが、期間限定の安定ヨウ素剤です。国からの支持を受けてから各個人に行き渡るまでには時間がかかりすぎて、意味をなさないのでないでしょうか。市民の命を守るため、より確実性の高い方法をご検討ください

安定ヨウ素剤の使用方法については、平成 27 年 3 月に佐賀県により作成された「原子力防災の手引き」に詳しく説明がなされており、玄海町、唐津市、伊万里市の全戸に配布され、住民の皆様にも周知がなされたところであります。

とありますが、私たちの周りの方々に聞いてみても、皆もらった覚えがないと言っております。聞いていても記憶に残らないのは市民の怠慢かもしれませんが、市民がこのくらいの認識であることはご存知でしょうか。もっと市民に自覚させる方法など考えていただけないでしょうか。

また、**原子力防災対策の出前講座**はどの地区でなされ、どのくらいの皆さんが受講されたのか、教えてください。

4) モニタリングポストは市民に良く見える場所で作動させて、原発への関心を高めてください。

これに対する回答で、17 台が配備されていることが分かり少し安心しました。しかし現場に行ってみてきましたが、何の表示もされておらず、市民の関心を高めることは難しいのではないのでしょうか。例えば、モニタリングポストを常時カメラ撮影し、伊万里ケーブルテレビで常時画面に表示するなど、市民の関心と安全を守る方法は市と民間、市民の協働により可能になると思います。

以上の三項目についての質問要望なども含めて、私どもが出した要望質問について、市民への説明を次の期日にしていただきたいのですが出向いてくださいますか。時間は 10 分～15 分位でよろしいです。また、その場で出た質問についてはその場で答えられなくてもいいので、気楽においでください。

以上の三項目についての質問要望なども含めて、私どもが出した要望質問について、市民への説明を次の期日にしていただきたいのですが出向いてくださいますか。時間は 10 分～15 分位でよろしいです。また、その場で出た質問についてはその場で答えられなくてもいいので、気楽においでください。

市民のための勉強会：テーマ 玄海原発再稼働

期日 1 月 29 日(日)13 時 30 分～15 時

場所 市民図書館ホール 主催：玄海原発再稼働を考える会